

平成27年8月13日

国土交通省中部地方整備局

三河港湾事務所

日々のチェックで現場事故の根絶を

～三河港神野地区の耐震強化岸壁の工事現場で安全パトロールを実施～

我が国の主要産業である自動車産業を物流面から支えるとともに、地震時において背後圏の緊急物資輸送や完成自動車等幹線物流の継続性確保のために、平成26年度より三河港神野ふ頭西地区において耐震強化岸壁(水深12m)の整備を行っています。

今回、三河港湾事務所の職員と三河港工事安全連絡協議会(※1)のメンバー合わせて12名により、神野地区耐震強化岸壁の工事現場の安全性及び作業環境の点検を平成27年8月7日(金)に実施しましたのでお知らせします。

※1：三河港工事安全連絡協議会とは、当事務所発注工事の受注者で構成される組織

<参考>

対象工事：平成26年度三河港神野地区岸壁(-12m)本体工事(その2)

受注者：あおみ建設(株)

●実施内容： 別紙

●配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、豊橋市政記者クラブ、
港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

●問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 保全課長 宮原(みやはら)

Tel 0532-32-3251

Fax 0532-32-5049

三河港湾事務所ホームページ：<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>



みかわこうわん

三河港湾

検索



パトロールの実施状況

●パトロール内容

パトロールに先立ち発注者を代表し、三河港湾事務所長の鈴木より『本日のパトロールを通じて、更なる災害防止の意識の向上に努めて頂きたい。』との挨拶がありました。

当日の現場では気温 33℃、湿度 66%と熱中度指数 30 のレベル 4(嚴重警戒)のなか、地盤改良の準備や土砂掘削等重機による作業を行っていました。パトロール参加者は飴をなめるなど熱中症対策をして不安全な行動や危険個所がないかの点検を行いました。

パトロール後の意見交換では、「吹き流しの設置位置が低い」や「歩行者通路の幅が狭く歩きにくい」などの改善意見があり、早速現場では是正を行いました。

パトロール実施の様子



改善意見への是正状況



【是正前：吹き流しの設置位置が低い】



【是正後：吹き流しの設置位置を高く】



【是正前：歩行者通路の幅が狭い】



【是正後：歩行者通路の幅を広く】

本格的な夏を迎え、暑い季節に熱中症や注意力の低下による事故の発生が懸念されるとともに台風の襲来も危惧されることから、同様の安全パトロールを月 1 回定期的の実施するとともに、引き続き工事現場の安全対策強化に取り組んでまいります。

※写真データを希望される方は●問合せ先までご連絡ください。